

NU NEWSLETTER

東北福祉大学通信
Jan 2021 No.95

Campus Topix

白石市と「地域共生社会の実現に向けた包括連携協定」締結

Team Bousaisi 角田さんが
国土強靭化担当相らと座談会

Sports News

元山、山野選手がヤクルト入り

Event News

鉄道交流ステーションブックレット
「島秀雄記念優秀著作賞」受賞

特集

ウィズコロナ： アフターコロナの 大学教育を考える

「中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎発生」と第1報が流れたのが、2019年12月。当時はヒトからヒトへの感染の明らかな証拠がなく、メディアの扱いもわずかだったことが記憶されます。ところが翌2020年の年明けから、世界規模で爆発的な感染拡大の一途をたどりました。「新型コロナウイルス」。人類の行動を一変させた、この感染症に関するニュースを聞かない日は今やありません。本学も入学式を中止、前期からオンライン授業をスタートさせるなど1年間、学生の不安や健康に配慮しながらも、教育の質を落とさぬよう対応してきました。今回の大学通信では「ウィズコロナ・アフターコロナの大学教育を考える」として、千葉公慈学長をはじめ教務部長、学科長、若手教員からの寄稿を中心に特集します。

◆新型コロナウイルス感染症に関する主な出来事と本学の対応◆

※2021年1月27日現在。太字は政府発令等

月 日	出来事・対応
【2020年】	
2月 1日	新型コロナウイルス感染症を指定感染症とする政令が施行
2月 27日	3月 19日の「令和元年度学位記・卒業証書授与式」全学合同式典の中止を決定。学科ごと、教室での分散開催に。「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第1報発出。海外渡航、部活動の遠征・合宿を自粛・禁止。遠征中の部活・サークルは帰仙
2月 28日	北海道で新型コロナウイルスに関し国内初の緊急事態宣言を発令
3月 2日	2月末の政府要請により小中学校が臨時休校開始
3月 5日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第2報発出。「放課後進学相談会 in 仙台駅東口キャンパス」を中止
3月 9日	令和2年度入学式の式典中止を決定
3月 12日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第3報発出。部活動・サークルの学内での活動を禁止。新入生の歓迎会や花見の禁止、学外での活動を原則禁止に
3月 13日	新型コロナウイルス特措法が成立
3月 19日	学科別の卒業式を举行。卒業生のみ参加、マスク着用を奨励
3月 24日	東京五輪の1年延期決定。新年度の授業開始日を4月8日から13日に延期
3月 31日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第4報発出。学内施設の閉鎖・感染した場合の学内窓口を保健室に一本化。感染した学生・教職員は欠席・欠勤扱いしない。留学派遣・受入を当面中止、学生の健康診断期間を7月末までの1か月間延長等
4月 3日	貸与バソコン配付を主目的に入学オリエンテーションを学科ごと実施。新入生のみ入場可とし、約1時間程度で終了。今年度新入生は計1,439人。(大学院通学・通信、学部通学生合計)。夕刻、宮城県知事と仙台市長から外出自粛要請の「緊急メッセージ」が出来され、翌日以降の新入生ガイダンス中止を決定。4日、5日を入構禁止に。4月13日からの前期授業開始を5月18日に延期
4月 4日	学生の土日・祝日の入構を禁止。仙台駅東口キャンパスを臨時閉館
4月 7日	政府より7都府県に緊急事態宣言が発令。対象地域の知事による外出自粛要請や休業要請がかかる。展示開始日だった鉄道交流ステーション「大回りで行くやさしい鉄道探検隊」が延期
4月 10日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第5報発出。前期授業を5月18日～8月28日に、Web履修登録期間を5月18日～28日に変更。当面の授業をオンラインで実施することを決定。各種ガイダンスはラーニングマネジメントシステム「TFU EduTrack」配信に。学生の4月中の大学構内への立ち入りを控えるよう通達。主催講演会等を延期・中止に。学生の健康診断を「秋頃実施」と変更。5月、7月の定期授業会中止を決定
4月 15日	新型コロナウイルス感染症防止対策室を設置
4月 16日	政府緊急事態宣言が全都道府県に拡大。オンライン授業担当教職員合同チームが発足。学科ごとに教員と職員が担当割り。基本は技術的サポート等
4月 17日	カテゴリーにより警戒内容と状態を示す「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における東北福祉大学の行動指針」を公表
4月 20日	職員の勤務を通常より2時間短縮し、9時30分から16時30分に(5月15日まで)
4月 22日	協定校の東北師範大学人文学院からマスク3,000枚が届く
4月 23日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第6報発出。学生・教職員専用コローセンターを開設。新型コロナウイルス感染症防止対策室で対応
4月 24日	学納金延納受付を開始。5月11日締め切りとするも、その後8月11日まで延長。社福2年生母娘から教員向けに手作りマスクが届く
5月 2日	学生の全キャンパス入構禁止期間を5月31日まで延長
5月 7日	オンライン授業担当教職員合同チームが解散、教員中心の「オンライン授業担当チーム」として継続。国見キャンパスに7箇所、ステーションキャンパス、ウェルコム21に各1箇所、臨時屋外手洗所設置を開始
5月 11日	キャリアセンターがGoogle Meetを活用した「履歴書／ES添削」や「模擬面接」を開始
5月 13日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第7報発出。相談・受診の目安について「37度5分以上の発熱が4日以上」としていた、厚生労働省の5月8日の指針変更に伴い一部変更
5月 14日	39県で緊急事態宣言解除。今年度からの宮城学院との高大連携事業をオンライン講義で開始
5月 15日	「新型コロナウイルス感染症拡大によるオンライン授業開始等に伴う東北福祉大学緊急給付金」を決定。通信制を除く全学生に3万円給付へ。匿名の卒業生からマスク1万枚、消毒液80リットルが届く
5月 18日	前期授業をオンラインで開始。午前、EduTrackにアクセスしにくい状況に。「オンライン授業担当チーム」の学科担当教員が解散、事務局のみの体制へ変更。技術サポートは情報センターが対応へ
5月 19日	引き続きEduTrackにアクセス集中による遅延発生
5月 20日	サークル状況改善。国による「『学びの継続』のための「学生支援緊急給付金」」申請が開始
5月 21日	緊急事態宣言3府県(京都・大阪・兵庫)解除。北海道・神奈川・東京・埼玉・千葉は継続
5月 23日	展示開始予定だった芹沢鉢介美術工芸館「朱いろ 藍いろ —芹沢鉢介の透明な色彩—」が延期
5月 25日	緊急事態宣言が全面解除。北海道・神奈川・東京・埼玉・千葉を対象外に
5月 28日	入構制限(入構禁止)を6月14日まで延長
6月 1日	仙台市内の小中学校が再開、夏休みは8月8日～18日の11日間に短縮
6月 2日	「東北福祉大学緊急給付金」給付方法を発表。保護者、保証人へ為替郵送
6月 8日	入学センターがオープンキャンパスの年内Web開催を発表。実施日は6月21日、7月18・19日、8月23日、9月27日、10月25日で、当日午前10時から翌日午前10時まで公開
6月 10日	入構制限を6月21日まで延長
6月 16日	「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」第8報発出。19全国を対象に県境をまたぐ移動の自粛解除される方針に伴い、大学の対応を周知。入構禁止を6月30日まで延長。前期授業を原則オンライン、対面授業実施の際は実施日の2週間前をめどに通知を行うとする。課外活動は学生生活支援センター長の許可次第で19日から可能に。

月 日	出来事・対応
【2021年】	
1月 2日	学生1名の罹患判明(7人目)
1月 4日	感染者数を累計でホームページ上に公表
1月 7日	政府が東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県に対し緊急事態宣言発令。1月8日～2月7日を期間とする。学生1人の罹患判明(8人目)
1月 8日	「『緊急事態宣言』発出に伴う本学の対応」をホームページ等に掲示。学生・教職員に対し対象区域となった1都3県への移動自粛を促す
1月 9日	学生2名の罹患判明(9、10人目)
1月 13日	緊急事態宣言が11都府県に拡大。大阪、京都、兵庫、愛知、岐阜、福岡、栃木も対象に
1月 14日	学生1名の罹患判明(11人目)
1月 16日	学生2名の罹患判明(12、13人目)
1月 19日	大学関係者1名の罹患判明(14人目)
1月 21日	学生1名の罹患判明(15人目)
1月 27日	春季休業中の学習教室開放継続を発表

一茎草を拈じて 宝王刹を建て 一微塵に入りて 大法輪を転ぜよ

東北福祉大学 学長

千葉 公慈

令和の新時代もすでに3年。とりわけこの1年間で世界の様相は一変しました。対面授業も思うように実施がかなわず、学生諸君はもちろんのこと、教職員にとつても試行錯誤を余儀なくされた日々でもありました。しかし斯様な状況下にあっても、常に前向きに取り組まれた皆様には、心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

仏教では現世を忍土と表現する通り、この世界はいつも何らかの不確定要素によって苛まれる場所でもあります。サンスクリット語で耐え忍ぶ（サハ）という意味の「娑婆」が当てられるのもそのためですが、私たち現代人は近代科学という一見万能と思える能力を手中にした結果、現世の本質を見失つたのではないでしょうか。現在のコロナ禍は、そんな私たちに「冷や水」を浴びせかけたようにも思われます。

道元禅師『典座教訓』より

手にとった一本の草であつても、それで大伽藍の仏塔を建てよ
一粒の砂ほどの場所からでも、眞実の仏法を大いに説法する志を抱けよ



こうした時代だからこそ、大学教育は社会をリードする原動力として、前向きな姿勢とそのメッセージを発信する使命を負っているといえます。少なく述べても鎌倉時代の道元禅師は、末法の世と恐れ、人心とともに乱れた当時にあって、冒頭のような勇氣あふれる金言を世に発信されたのでした。

何という氣概に満ちた言葉です。人は往々にして得難きこと、いまだ欠如したものを嘆き、かえつて満たされたこと、与えられたものごとは看過してしまうものです。しかし、嘆きからは可能性は生まれず、感謝の失念に未来的の創造はありません。

たった一本の道端の草でもいい。そ

れを活かす本当の智慧があれば、まるで五重塔のような大金字塔を打ち建てる事にもなるでしょ。たとえ微塵ほどの小さな世界であつてもいい。釈尊の偉大な説法は、余すところなく大宇宙に向けて響き渡らせる事も出来るはずなのです。

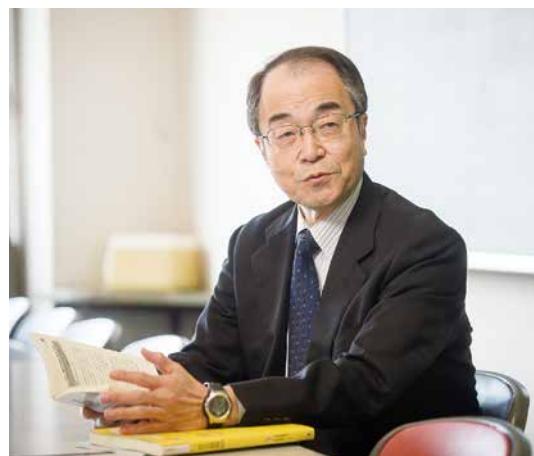
今、コロナ禍に左右される世情だからこそ、かえつてSDGsをはじめとする人間社会の理想像が見えてくるものがあります。現世に生きる人間性の姿も同様です。大学とは、まさにそうした

大学は、智慧を覚醒させ育む深源
その社会的責任は一層大になった
睡れる本来の智慧を覚醒させて育む深源でもあり、その社会的責任は一層大になったと受け止めています。ゆえに東北福祉大学は、学びを求める学生たちのために、あらゆる努力を惜しまない覚悟です。

いついかなる困難に出会つても、ひるむことなく前進する気概を持った学生们たちが、今年もこのキャンパスを闊歩し、ポストコロナ時代を縦横無尽に活躍する姿を見せてくれることを信じてやみません。

一定の教育効果維持も、質の向上と改善を

オンライン授業の中間総括と次年度の展望



けた支援を展開した。

【学生等への情報提供と支援

新入生を含めた学生等への支援としては、各種オンライン授業に関するガイドをホームページ上に公開するとともに専用窓口を設置した。特に新入生

開始当初はアクセスの集中など接続のトラブルもあつたが、その都度、関係者がミーティングを重ね、改善策を検討し、必要な情報は学生や教員に対して発出するなどして対処してきた。

【一部対面授業の実施】

（一般演習を含む）については、対面形式の授業は原則行わず、オンライン形式で実施した。7月からは、少人数の実技・実習・実習事前事後指導、資格に関する演習の一部及び大学院は感染状況をみながら対面授業を導入し、後期は上述した少人数の授業

は感染状況をみながら対面授業を導入し、後期は上述した少人数の授業に加え演習も対面授業へ戻したり、

オンライン授業を併用したりして実施してきた。

【中間總括】

月5日 学生はもとより教員も、オンライン授業の展開は、
全面的なオンライン授業の展開は、

全面的
社會



一部科目的対面授業が解禁となり、8月5日に行われた企画審習のようす

学生はもとより教職員すべてにおいて経験したことのないことであり、当初は戸惑いも多

業等を併用する

最大限感染防止対策を実施し、時間割などを調整したうえで、週3日は学生が通学し、対面授業が受講できるよう工夫する。同時に、対面授業が困難な学生への配慮として、オンライン授業等を併用する。

ウイズコロナの中で、全面的な対面授業の実施が困難であるが、より良い

授業の実施が困難であるが、より良いオンライン授業の提供を心がけていきたい。

かつた

オンライン授業の個別評価としては、例年は点数化された「授業評価」を実施していたが、今年度は、自由記述を中心とした「授業評価」に変更し

「コロナ禍における学科・研究科の取り組みと今後」

カリキュラム改定後も
オンラインの手法生かす



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

体へのインタビュー、ソーシャルワー
クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。

各教員グループが各施設実習内容の検
討を重ね、各実習先指導者に講話、実
習資料作成、映像作成等を依頼すると
ともに、付きつきりで実習実施に当
たつた。

本年度はコロナ禍の中で、学科カリ
キュラムの全面的な改定作業を行つ
た。来年度は大学の授業指針に沿つて
取り組む一方、本年獲得したオンライン
の手法の良い点も生かしていきた
い。例えば、固定した現場で、限られ
た学生数で取り組んできた実学臨床教
育Iは、関連法人施設との連携のも
とにオンラインの手法を活用し、多く
の1年次学生を受け入れて幅広い各種
社会福祉事業の役割、現状そして課題
などについての学びと考察を深めるた
めのプログラムに改善されている。

「いつでも受講可能が
双方のストレス増加に

福祉心理学科長
渡部 純夫

コロナ禍での大学教育は、もちろん
初めての経験であり、教職員・学生双
方にとつて、日々戸惑いの連続で、予



想以上に困難を強
いられるもので
あつた。そんな中、
福祉心理学科とし
ては、学生のニーズに丁寧に対応しよ
うと、学科の全教員が全力を挙げて取
り組んだのであるが、オンライン授業
における課題がいくつか見えてきたの
で、それをまとめ今後の対応に生かし
ていきたいと考えている。

1年生が教員を身近に
学生時代紹介動画公開

福祉行政学科長
阿部 裕二

課題は3点あり、1つ目は、授業を
通して学生に教員の思いや意図が伝
わっているか否か、オンライン授業で
はわかりづらいことが挙げられる。具
体的には、顔を見せたくない学生が何
人かおり、反応をうかがい知ることが
できることがあるため、個々の学生
の学習の到達度に合わせた個別指導が
十分に提供できなかつたのではないか
という反省が残る。教員側としては、
何とかしたいという思いがあるだけに
やきもきさせられた。

2つ目は、オンライン形式ではグ
ループとしての活動を行うことに困難
が付きまとつことがあげられる。
Google Meet や Zoomなどの Web
ツールを用いて対応するなどの方法を
試みたが、グループ内での検討が不
十分だった感は否めない。

という甘えから、学生が生活のリズムを
乱したり、課題提出の期限を守れず、教
員に問い合わせを行なうことが増え、双方
のストレス増加につながつていつた。こ
れらの点からも、今後さらに手厚い対応
が求められると考えている。

1年生が教員を身近に
学生時代紹介動画公開

福祉行政学科長
阿部 裕二

本学科では、オンライン授業に向け
て学科会議等で情報を共有しながら、
学科担当教職員の協力を得つつ準備を
進めてきた。

学科の方針としては、丁寧な授業教
材の作成や2年生以上の在学生はもち
ろんのこと、新入生に対するきめ細か
な対応に注力した。1年生必修科目で
ある「リエゾンゼミI」では1時間
目に設定されていることから、同時双
方向型の授業によつて生活のリズムを
維持することに努めた。また、オンライン
上でグループワークや発表会の方
法を取り入れ、画面上ではあるがゼミ
生間の交流の場づくりにも配慮した。

また、1年生から3年生の学科必修
科目である「福祉行政入門」「福祉行
政総論I・II」「福祉行政各論」では、
キャリア教育も兼ねて公務員試験合格
者の体験談や各種現場で活躍する方々

（一社）日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での視聴をもとに現場体験
を代替する方法で試験を実施した。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護
福祉士等の福祉分野実習では、例年施
設現場での実習を行つていたが、実習

先に問い合わせたところ、実習中止、
無期限延期という回答を得た。そこで、
(一社)日本ソーシャルワーカー教育学校
連盟の方針に従い、実習施設とのオン
ライン接続による学習、関係機関や団

クの実践現場を扱つた映像教材の活用
などをもとに学内実習に取り組んだ。



社会福祉学科長
阿部 一彦

Iでは、後期に対
面授業が可能に
なったが、クラス

数が19と多いため、密にならない講義
室を十分な数だけ確保することはでき
なかつた。そこで、3グループに分かれ、
異なる週ごとに対面授業に取り組まざ
るを得なかつた。その結果、他学科の
ように対面授業の回数を確保すること
ができなかつた。学科の特徴として、
施設での1泊2日の体験実習をふまえ
た総合型選抜入試を予定していたが、
体験実習は断念せざるを得なかつた。
そこで動画での

にも参加していただき、同時双方向方式やオンライン方式によつて授業を展開した。その際、チャットや書面により質問を受け付け、その後に担当者からフィードバックするなど、できるだけ対面授業と同等の教育の提供を心がけた。

さらに、特に1年生は「リエゾンゼミI」以外の学科教員と直接接する機会が乏しいことから、教員紹介とともに身近な存在であることを実感してもらうために、各教員が自らの学生時代について動画を作成し公開した。

本格的なオンライン授業の実施は、多くの教員にとって初めての経験であつたが、今後も、学科においてオンライン授業の効果的な実施方法や対面授業との組み合わせ（ハイブリッド）の在り方を検討、共有していく。さらに、学生からの授業評価を踏まえつつ、より良い授業の提供に努めていく。

通信の本領発揮で見えた 学習システムの将来像

通信教育部長
三浦 剛

コロナ禍の状況により、実習を始め、演習科目もオンライン化することになつた。しかし、ここで、これまで通信教育部で培つてきたオンラインなどの通信教育技術が十二分に発揮されることに



三浦教授（左）と竹之内准教授による通信教育と竹之内准教授による通信教育
教育部でのリモート指導

実習を例にとれば、映像やオンラインマンド教材の作成、配信とリアルタイムでの課題の達成状況の確認、実習記録などの時間内での指導などが、高度なオンライン技術によって可能になった。実習生は配属実習と同様に、実習中は常に指導者のスーパーバイジョンを受けることができた。実習生は連日8時間以上もパソコンと向かい合うことになつたが、授業評価からは彼らの得られたものは大きかったことがわかる。この状況は、まさに通信教育がその本領を発揮する機会であつたといえる。実習や演習にもオンライン技術が有効であることも確認でき、現場やスクーリングでの学びと、オンラインでの学びを融合した学習システムの将来像が見えてきた。

感染対策と学修効果向上 両面でその有効性を追究

産業福祉マネジメント学科長
岡 正彦

2020年4月の大学構内は、新緑

なつた。季節感とは相反し、主役を失つた空間と時間だけが漂う様相を呈していました。手探り状態でスタートしたオンライン授業は、数多くの功罪を生み出しました。例えば、オンライン授業のメリットは、「時間と空間の制約」がなくなることで、学生が自分のペースで学修できること。事前配布された資料で予習ができると。事前配布された資料で予習ができることなどが挙げられます。科目によつては、対面授業と同等以上の学修効果が認められています。一方、学生からは、課題の量が多すぎる、質問の機会が少ないとなどの声も届いています。本学科では、このような学生の声を反映し、学科の特性を活かしたハイブリット型授業の展開を進めていきたいと考えています。特にフィールドワークを中心とした科目は、オンラインで事前配布した資料等を使った予習を経て、対面授業で、少人数によるアクティブラーニングを取り入れ、コミュニケーション力を高めるグループワークを中心の授業を行います。このような形態の授業を実施して、感染対策と学修効果の両面でその有効性を追究していきます。

不安解消に全1年生と オンライン面談実施

情報福祉マネジメント学科長
大内 誠



情報福祉マネジメント学科長
大内 誠

と青空の心地よい季節感とは相反し、主役を失つた空間と時間だけが漂う様相を呈していました。手探り状態でスタートしたオンライン授業は、数多くの功罪を生み出しました。例えば、オンライン授業のメリットは、「時間と空間の制約」がなくなることで、学生が自分のペースで学修できること。事前配布された資料で予習ができると。事前配布された資料で予習ができることなどが挙げられます。科目によつては、対面授業と同等以上の学修効果が認められています。一方、学生からは、課題の量が多すぎる、質問の機会が少ないとなどの声も届いています。本学科では、このような学生の声を反映し、学科の特性を活かしたハイブリット型授業の展開を進めていきたいと考えています。特にフィールドワークを中心とした科目は、オンラインで事前配布した資料等を使った予習を経て、対面授業で、少人数によるアクティブラーニングを取り入れ、コミュニケーション力を高めるグループワークを中心の授業を行います。このような形態の授業を実施して、感染対策と学修効果の両面でその有効性を追究していきます。

①Google Meet を活用したロールプレイ実習やゼミのグループ研究の実施 Google Meet のブレイクアウトルームを活用して、ロールプレイによるグループワークを行つたり、ゼミ内のグループ研究を実施したりしました。話すならば対面が良いという声もありましたが、複数の人と話し合いができるよかつたとか、対面よりも話がしやすかつたという感想も見られました。

②オンラインツールを活用した参加型授業や反転授業の実施 ビデオオンラインマンド型の授業だと学生はどうしても受け身になりがちです。そこで、メッセージ機能、チャット機能、LINE、Google Formsなどを活用して参加型授業や反転授業を実施しました。こ

れによって学生たちは対面型に近い形で授業に参加することができました。一方、教員の負担はかなり増加しました。

③ハイフレックス型のプログラミング

教育の実施 後期に入つてからは対面とオンライン型を同時にを行うハイフレックス方式に切り替えた授業がいくつありました。中でもプログラミング基礎Ⅱにおいては、教員とアシスタント学生のチームティーチングによって、オンライン型の欠点である質問のにくさを克服し、きめ細やかな技術教育を実施しました。

④Google Meetによる個人面談の実験

施 每年リエゾンセミIの担任と学生
が個人面談を行つてきましたが、今年
度は Google Meet によるオンライン
面談を全ての1年生に対して実施しま
した。これによつて1年生が抱えてい
たおまざまな不安を解消する」とがで
きました。

受入先の条件をクリア
対応策工夫し教育実習

石原 直 教育学科長

教育学科において

では、教員などの教育関係の職をめざす学生が多いこ

とから、「人や物との関わりを通して学ぶ」ことを大切に考えて います。

コロナ禍においては、学校現場へ入

ることや子どもたちと関わることが強

く制限されましたが、教育現場で学ぶ貴重な機会である教育実習を何としても実施したいと考え、1つ1つの実習先に受け入れが可能かどうか直接問い合わせをし、また、2週間前に現地に入つて体調管理をするなど、受け入れ先の様々な条件をクリアできるよう先の様々な条件をクリアできるようくに、対応策を工夫してきました。

わからぬいため、実習をほとんじ学内実習に切り替えるを得ませんでした。後期においては、何とか様子もわかり実習を再開することを決定しましたが、冬場に感染症が爆発的に増加するのを恐れ、年内中に基礎看護学実習Ⅰ、3年次の大型臨地実習を終えるように、臨地実習を調整しなおしました。実際

幸いなことに期間の短縮はありましたが、仙台市をはじめとして、多くの学校で実施することができました。また、仙台市教育センターでは、現職教員向けの研修会への学生の参加を認めてくれ、多くの学生が参加しています。授業においても、音楽科の授業やゼミなどでの対面授業の工夫や、オンライン上に Google Meet や Zoom を積極的に活用するなどしてきました。今後も体験的な学びをサポートすべく、様々な場面で工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。

に臨地実習を行うことができたのは、例年の半分ほどとなりましたが、全員何とか感染者を発生させず臨地実習を行うことができました。

臨地実習を実施するため、学生は実習開始の2週間前からアルバイトは禁止、朝、昼、晩の体温測定と体調管理を行い、会食は禁止、若い学生にとつてつらいこともたくさんあったと思います。さらに、臨地実習を受け入れてくださった病院の皆様にも大変お世話になりました。心より感謝いたします。

卒業生は医療の第一線で働くことに

業に取り組みました。生活リズムを崩さないようリアルタイムでの授業実施を心がけ、遅れがちな学生には即連絡、面談を行い学年担当やゼミ担当教員と科目担当者で情報共有し、学生フォローを行っています。学生との個別面談や主要科目の学習会の企画等、特に1年担当教員は、Meetやメール等できめ細やかな対応をされています。後期には、Google Jamboardを用いた、対面と遠隔の併用も始まりました。演習、実習授業を対面で行うため、飛沫対策としてのパーテーションを作

成、設置。実習系授業実施の際は、フェースシールド、グローブ、マスクにて実施していますが、触診時の感じやフェースシールドが相手に当たり必要な距離が取れないなど、実習系授業

調整と厳格な体調管理
臨地実習で感染者出さず

保健看護学科長

杉山
敏子

2020年、コロナ禍の中、何といつ

A portrait photograph of Dr. Linda K. Tsui, a woman with short brown hair and glasses, smiling.

ても臨地実習の実施について苦心しました。特に前期

触診の感触、周囲の距離 実習系授業方法に難しさ

シニン学長
齋木しゅう子

リハビリテー
ション学科の取り
組みとして、学生
たちの顔、声を聞
き授業理解、学生たちの気持ちを支援
するよう心がけ、多くの教員が早くか
ら Google Meet を用い双方向での授
業に取り組みました。生活リズムを崩
さないようリアルタイムでの授業実施
を心がけ、遅れがちな学生には即連絡、
面談を行い学年担当やゼミ担当教員と
科目担当者で情報共有し、学生フォ
ローを行っています。学生との個別面
談や主要科目の学習会の企画等、特に
1年担当教員は、Meet やメール等
できめ細やかな対応をされています。
後期には、Google Jamboard を用い
た、対面と遠隔の併用も始まりました。
演習、実習授業を対面で行うため、
飛沫対策としてのパーテーションを作
成、設置。実習系授業実施の際は、
フェースシールド、グローブ、マスク
にて実施していますが、触診時の感じ
やフェースシールドが相手に当たり必
要な距離が取れないなど、実習系授業

TFU Newsletter

の方法の難しさを感じています。

臨床実習は中止、途中で終了もあり臨床に出られなかつた補完として、実習施設の協力のもと評価・治療場面の実際を動画教材とし撮影、学内での学修に活用するよう進めています。

このような状況であつても、質の高い学修経験が積める工夫が重要と思います。

大学生活の日常が喪失 学ぶ意欲を失わせない



医療経営管理学科長

船渡
忠男

本学科は、医療事務職、救急救命士をめざす学生が多い。医療系は3

年次医療機関における実習があるが、本年度は実習先から延期を余儀なくされ、一部の学生は越年することになった。救急救命士課程もしかりである。

そのため、学内で3密を避けた実習を工夫して取り組んだ。少人数のゼミや実技演習をできるだけ増やした。とくに新1年生には学生同士、教員とのコミュニケーションを積極的に交流していく必要があり、お互いの顔を確認できる双方向のWeb会議システムGoogle Meetを積極的に利用した。また、理解度を確認するメールのやり取りは有効であった。

コロナ禍では、直接の指導がない、

大学生活の日常が喪失したと感じる学生もいるなど、多くの課題を残している。今後は、講義・実習のあり方、教育のICT化をどう具現化していくのか、今回のコロナ禍における経験を基に、学びのあり方を模索していくべきと考える。大切なのは学生の学ぶ意欲を失わせないことである。これからも長期化すれば、社会で求められる能力を引き出していくことをオンライン授業の中から答えを導き出していきたいたい。大学の教育を見直す良い機会と、前向きに捉えている。

対面減で調査研究に影響 授業は方法により効率的



大学院総合福祉学研究科長

三浦
剛

大学院教育にお

いてもつとも影響

を受けたのは、院生の調査研究だつた。昨今、質的データの分析による研究が多く行われるようになり、院生の研究でもインタビュー・データをとることを計画したものが多かつた。コロナ禍により、対面による聞き取りができなくなり、アンケートに切り替えざるを得なかつたものも多かつた。いくつかのデータマイニング・ソフトウェ

アが開発されているが、まだ十分実用的とはいえない、アンケートによつて得られたテキスト・データの分析は、KJ法などで概念形成を行うことが中心となつた。しかしこれはまた、研究の目的と方法の整合性をじつくり検討する機会にもなつた。

また、対面授業を減らすことは、いわゆる「講義」で伝えなくてはならない内容はオンラインデマンド教材化し、対面、オンラインによる同時双方向授業の機会は討議や研究指導に活かすことができ、結果効率的であった。特に通信制大学院ではこのような方法で、貴重なスクーリングの時間を充実させることができ、今後の授業編成に取り入れることにした。

コロナで加速 ICT 教育 対応可能な教員養成急務



大学院教育学研究科長

岡田
清一

で、令和2年度が終わろうとしている今、今後、同様

のままに災害が起こる可能性を否定しえない現状のなかで、大学院の教育支援をどのように展開すべきか、早急に制度設計する必要がある。

教育分野は、その教育内容も方法も確実に変化しており、とくにICT教育はコロナ禍によつてさらに早く推進せざるを得なくなつた。学習者用デジタル教科書が法的にも制度化され、紙の教科書との併用以上に活用する機会が増えてくることはいうまでもない。そうした状況に対応できる教員養成が急務であり、カリキュラムの改編を検討する1年になると思われる。

にある。しかし、授業の内容によつては、オンライン授業やその他の方法を設定せざるを得ないものもある。例えば、地域を対象とした調査活動など、対象地域を東北6県に限つたとしても、対象者との対面は不可避であり、十分な時間をかけることは難しくなつてている。代替的にアンケート調査なども考えられるが、事前指導の設定など、院生の時間的負担をいかに緩和するか、早急な検討が求められる。さらに、特別支援教育を専攻する場合、特別支援研究室が主催する学習支援機関「ひかり野塾」に通う児童・生徒を対象にする場合が多く、保護者との合意形成を初年度から、しかも早急に進めなければならない。これまでには、時間をかけて保護者との信頼関係を構築できたが、コロナ禍のもとではそれが難しく、代替方法を検討する必要がある。

教育分野は、その教育内容も方法も確実に変化しており、とくにICT教育はコロナ禍によつてさらに早く推進せざるを得なくなつた。学習者用デジタル教科書が法的にも制度化され、紙の教科書との併用以上に活用する機会が増えてくることはいうまでもない。そうした状況に対応できる教員養成が急務であり、カリキュラムの改編を検討する1年になると思われる。

～学科教員によるオンライン授業の工夫点、課題と改善策～

社会福祉学科講師 千葉 伸彦



私が担当する講義科目は前・後期すべてがオンラインでの実施となつた。学部学科を超えて、1年次に

「動画を視聴した気づきや感想」を記入してもらい、学生同士の学びや気づきの共有ができる空間として利用した。

演習系科目では、学生から「現場経験の不安やボランティア未実施の不安」の訴えが多かつたため、Google Meet や Zoom 等を用いて、福祉施設等の職員の方々と学生が交流できる場を設定した。コロナ禍の社会福祉実践の現状や学生に期待することなど、質疑応答のできる機会となり、学生からは「コロナ禍で将来が不安だつたが、現場の方々の熱い想いを聞き、あらた

なった」との話が大変印象的であった。今後は、根気強く我慢をしながら学びを続けた学生の努力に報いるためにも、学びに対する欲求を引き出し、コロナ禍、オンライン授業という環境下であつても、学生の学びを止めない取り組みとその質を高める授業を継続する予定である。

福祉行政学科講師 清水 由賀

社会心理学科助教 平泉 拓



授業をオンラインで収録型で実施する場合、授業の醍醐味である学生

オンデマンド授業で最も苦労したがおそらく効果があつた点は、字幕をつけた点である。聴覚障がいを持たない学生にとつても助かるといった声が多かった。人工知能を使った字幕作成ソ

科目によって毎回分または2週間分で

ある。フィードバック動画が良かったという学生の声も多い。特に、オンライン開講または教員同士で協力して開講している科目の場合は、複数の教員で和気あいあいと撮影し、教員同士のかけあいも生まれて、撮影している私自身も楽しめていた。

なお、フィードバック動画の時間を加味して、通常の授業動画は時間を30～60分程度の内容に圧縮している。

私は、質問や感想に対するコメントを20分程度で説明するフィードバック

動画を撮影し、配信している。頻度は、EduTrack のディスカッション機能に

めて福祉援助職に対する目標が明確になつた」との話が大変印象的であった。

今後は、根気強く我慢をしながら学びを続けた学生の努力に報いるためにも、学びに対する欲求を引き出し、コロナ禍、オンライン授業という環境下であつても、学生の学びを止めない取り組みとその質を高める授業を継続する予定である。



6月3日、パソコンとスマートフォンで1年生を指導する清水由賀講師

PC2台でハイブリッド授業、課題は鳴音

Google Classroom と併用する

ことが便利であった。課題提出・資料配布・共有ドキュメントの作成・ドライブの共有などをしながら同時双方向で対話を進めることができ、対面のみでは実現できない形態でもあつた。

Google Jamboard で複数人が同時に書き込みをしたり付箋を貼つたり参考となる記事やリンクを貼り付けたりしてアイディア出しをするのも楽しい。

対面・オンラインのハイブリッド型の授業は、PC が2台あれば意外と通常通りの授業ができることが分かつた。むしろ遠隔からも“対面授業”に参加できる点はかつてよりも便利だ。

PCの1つは教員、1つは教室の様子を映し、教室のスクリーンに映すスライドをオンライン上でも画面同期し教室内の声をマイクで拾えば、対面・オンライン双方の学生がほぼ通常通り授業に参加できる。課題は、ハウリング（鳴音）である。同じ空間で2つ以上のPCが同じビデオ会議システムに入つて発話することができない点は、難点だ。

産業福祉マネジメント学科准教授



工藤 健一

「語りかけ」で「反応」引き出す

自分なりに工夫したことは、学生への「語りかけ」です。これは同時に改善を要する課題でもあります。昨年度まで、教室を見渡せばそこには学生たちの微かな領悽や睡魔との闘い、ごく稀に私が面白いことを言った時などの失笑や微笑が当たり前にあります。これらは時間と空間を共有するからこそ感じる（見る）ことのできた学生の反応ですし、それに対する私の反応もしかしオンラインではこのリアルな反応（に対する反応）がありません。そこで、文章による資料であつても「皆

さん、こんにちは」から始め、口語体でモニタの「向こう側」にいる個々の学生に向けて語りかけるように書いていく。動画でも説明口調は避けて語りかけるつもりで喋る。それを見た（読んだ）学生の「今は夜だよ」とか「これさつきも言つてた?」「今、言い直したね」といつた反応というかツッコミというか、引っ掛かりのようなものが生まれることを期待しました。内容を丁寧に説明することや頭の中で整理されたリアクションを求める（確認テストやレポート）、質問への丁寧な対応なども心掛けましたが、それとは別に、時間と場所を異にする状況でも学生たちの「授業中の（身体）反応」を引き出せればと思いながら授業に取り組みました。

情報福祉マネジメント学科講師



岩田 一樹

オンライン授業はほぼ全て、①授業はオンラインで実施、②毎回演習問題を課し、その解答をもつて出席、③通常の講義時間は双方通信で講義動画または演習問題の質問のみを受け付け、質問の無い学生は参加不要、の形式で行いました。解答ができることも重要ですが、問題について適切な質問ができるのを重視し、③を設けたのが工夫点です。また、プログラミングを伴う講義では、講義内容全てについてサンプルコードを提供し、最低限、講義内容は再現できるようにし、学生が諦めないようにしました。学生からは、見直しが丁寧に説明することや頭の中で整理されたリアクションを求める（確認テストやレポート）、質問への丁寧な対応なども心掛けましたが、それとは別に、時間と場所を異にする状況でも学生たちの「授業中の（身体）反応」を引き出せればと思いながら授業に取り組みました。

双方向型で学生の質問内容を重視

一方、問題が解けない学生の中には単位自体を速攻で諦めてしまう者もいるので、演習問題の難易度設定、また、いつ視聴してもOKにしてしまうと講義をためてしまう学生も散見されたのが課題です。課題の難易度設定は、オンライン授業だけでなく、対面授業でも課題です。ただ、上記の授業形式だと、オンライン授業の方が質問をしやすいようなので、高難易度でも大丈夫なようです。後者については、視聴可能期間を短く刻んで、講義を貯めないようになります。そこで、改善すると考えます。

教育学科准教授 和史朗



本学は5月18日
が講義開始となつたので、既に講義

大学の状況や学生の声を収集し、種々

の課題を解決する唯一の方法は、対面授業以上の質でオンライン授業を行うことのみと考えました。また、せっかくの機会なのでオンラインでしかできないメリットを考えるようしました。朱（2019）の行つた調査では、パワーポイント画面だけの講義より、人とパワーポイントの両方が映つてた方が学生はわかりやすく感じるという結果が示され、やはり配信動画に授業者が映つてることには必須と考えました。

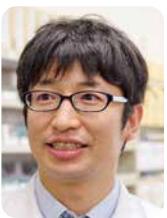
「対面授業以上の質」を念頭に

教育実習事前指導でも今後の社会の変化を見据え、オンラインを活用した特別支援学校の授業の在り方にについて、模擬授業を通して学生と研究しました。とても難しい課題でしたが、果敢に挑んでもくれた28名の学生達の模擬授業はどれも素晴らしい、改めて本学の持つ力に感心しました。

「どうしたらできるのかを考える」

特別支援教育の発想が生き、学びの多い1年となりました。

保健看護学科准教授 小野木 弘志



オンライン授業として資料提示型、動画オンデマンド配信型、同時

双方の形態が提案され、私は主に動画オンデマンド配信型の授業

動画の作成、②授業毎の到達度確認、③フィードバック、を意識しました。

双方開型が採算され和む三は
動画オンラインデマンド配信型の授業
を実施しました。実施に際し①
動画の作成、②授業毎の到達度
確認、③フィードバック、を意
識しました。

①動画の作成では「1動画あ
たり10分前後（学生の集中力を
保つ）」「自身の顔を晒す（学生、
とりわけ1年生に、誰の授業を
受けているか意識させる）」こ
とを心がけ、パワーポイント、Google
MeetやZoomの録画機能、動画編
集ソフトを利用しました。

1動画10分前後で学生の集中力保つ



リハビリテーション学科講師

黒木 薫

門家である。理学
作・動きを治療す
る（指導する）専

保つ)」「自身の顔を晒す(学生、とりわけ1年生に、誰の授業を受けているか意識させる)」ことを心がけ、パワーポイント、Google MeetやZoomの録画機能、動画編集ソフトを利用しました。

させ「実感」を得る

療法士の養成課程においては人体に関する知識の修得のみならず、実技を通して関節の動き、筋の働き、動作の理解が必須である。学生にとって実技は、普段、意識せずに動かしている身

②授業毎の到達度確認では本学学習管理システム（LMS）であるEduTrackの確認テスト、課題提出、

アンケートの各機能を授業に応じ利用しましたが、「学生の負担が過度にならない」「シンプルな方法」「繰り返し情報提供」を心がけました。

③フィードバックはLMSのディスクッション、アンケート、メッセージ

しかし、実技の対面授業はごくわずかに限られ、オンライン授業にて「学生の“実感”をいかに得られるようにしていくか」が課題であった。2年生を対象とした授業での試みとして、ストレッチや筋力トレーニング

動作を自ら撮影させ「寒感」を得る



医療経営管理学科准教授

河村
孝幸

組んでくれたように感じている。この課題は、1年時に人体の基礎知識を学び、動作イメージがまだ乏しい2年生にとっては良かったのかもしれない。治療的関わりを学ぶ3年次以上ではさらなる検討が必要である。

オンライン授業ではできることが限られるが、学生が“実感”的得られる授業となるよう試行錯誤していきた

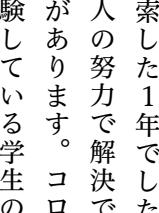
いる学生が多いこと、普段からスマホを使って写真撮影している年代であり、こういった課題には抵抗なく取り組んでくれたようを感じている。この課題は、1年時に人体の基礎知識を学び、動作イメージがまだ乏しい2年生にとっては良かったのかもしれない。治療的関わりを学ぶ3年次以上ではさらなる検討が必要である。

オンライン授業ではできることが限られるが、学生が“実感”的得られる授業となるよう試行錯誤していきた

キーワードの出現率から可視化し共有を図りました。「周りの学生の学びの様子が見られて効果的だつた（3年）。

成績公表、気づきの可視化、字幕表示を追加したことです。聴覚障害学生の情報保障が目的でしたが、他の学生にとつても理解の助けになり、教員自身の振り返りにもつながりました。オンライン授業の課題としては、体験や実習を交えた講義内容を省かざるを得なかつたことでした。

成績公表 気づきの可視化 字幕効果



授業は主にオンライン

授業は主にオンライン型を、ゼミはZoomをを使った同時双方向型を採用しました。工夫した点と「学生の感想」を紹介します。1点目は、

個人が特定できない形で、毎授業後の確認テスト成績一覧を公開したことです。「次はこの点数を取つて順位上げるぞとなつたり、グラフでこんなに高得点の人がいるんだから自分も頑張ろうと思つた」（1年）。

2点目は、授業後の感想として自由記載欄に綴られた多様な気づきを、キーワードの出現率から可視化し共有を図りました。「周りの学生の学びの様子が見られて効果的だつた」（3年）。

3点目は、動画に字幕表示を追加したことです。聴覚障害学生の情報保障が目的でしたが、他の学生にとつても理解の助けになり、教員自身の振り返りにもつながりました。オンライン授業の課題としては、体験や実習を交えた講義内容を省かざるを得なかつたことでした。

振り返ると、「教育の質」の維持・向上のため、授業評価アンケートや学内外の各教員の取り組みを参考に模索した1年でした。ただ、教員一個人の努力で解決できることには限界があります。コロナ禍での学びを経験している学生の声を真摯に受け止め、大学全体で考えるべきだと感じています。

「学生の声」

学生生活を大きく変えた新型コロナウイルスとオンライン授業。その1年ももうすぐ終わろうとする中、①オンライン授業で良かったと思えた点②オンライン授業で苦労した点③来年度以降の大学の授業で期待したいこと、の3点について一部学生に自由記述でコメントをいただきました。自分のペースで学習できたことをメリットとして挙げる学生が多く、一方、集中力の持続や課題の多さ、教員や友人とのコミュニケーションの取り方に苦心した様子などが垣間見えました。（コメントは一部抜粋。構成・広報課）

② 対面授業に比べて集中しにくく、メリハリがつかない。各自のオンライン環境に左右されやすい。講義によっては資料提示のみで、学習の質が大幅に低下したようを感じられた。

③ 連絡の迅速化。オンライン授業にすると決定した連絡ですら遅かつた。学生のためを思つてよりよい学習環境を提供していくべきのなら、より早い対応と連絡をしていただきたい。また、大学の各課ごとで言つていることが異なる等、連携が取れていない場面が見受けられ、そういった点も改善の余地があると思う。

①オンライン授業では座り方や衣服や化粧を気にせず好きなスタイルで受けられるのも魅力と感じた。

②毎週確認テストやレポートの提出を要求される点。多くがこの方式のため、毎週課題提出に迫られるという学生も周りには多い。

③オンライン授業のなかでどのような進め方をしていくのか、試験はどうなるのか、オンラインまたはオンデマンドなどのかなどの今年度のオンライン授業のノウハウを生かしたシラバスの作成や説明が欲しいと感じる。

(情報福祉マネジメント学科 2年男子)

② 課題の提示の説明が口頭ではないので、理解しづらく質問もしにくい。授業動画が止まつたり、見られない時がある。先生によつては対面の時よりも課題が多い。資料を自分で全て印刷しないといけないので、出費がかさんだ。

③ 適度な分量の課題提示と課題の詳しい説明。臨機応変で柔軟な対応。

(教育学科中等教育専攻2年女子)

大学で授業を受けたい！

① 動画視聴の授業では、分からぬところは何回も見返せるため理解しやすく、自分のペースで授業を受けられる点が良かった。

② 1人でずっと授業を受けているため、

方に苦心した様子が垣間見えます。た。（コメントは一部抜粋。構成・広報課）

卒論アンケート回答率が減る
①自分の時間が増えた。大学や帰りの交通機関の心配をし

② 4年の講義で、ゼミと卒業論文のみ選択していたが、オンラインだと仲間との情報共有にも限界があつたり、図書館で

自分のペースで取り組めるが、
①授業を繰り返し視聴でき、復習しやすい。
自分のペースで授業に取り組むことができる。
②学校での演習ができないため技術面の
勉強が難しい。コミュニケーションを取り
りづらい。
③質問などをしやすくするための時間の
確保
(保健看護学科3年女子)
自由な時間、生活リズムの乱れ

③先生によつて機械の得意不得意が講義の進行に大きく影響していると感じた。上手く活用すれば、対面講義よりも多くの情報を共有することができ、学生のモチベーションの協力を願いした時も、対面よりも回答率が下がつてしまい、データ集めに苦労した。

好きなスタイルで受講も…

① オンデマンド授業の場合は好きな時間に受けられるという点、オンラインの授業では Google Meet を使用しているためチャットで質問しやすい点。また、オ

資料印刷で出費かさむ (教育学科中等教育専攻2年女子)

①授業動画や資料が繰り返し見られたり、一時停止が出来るので、勉強する際の復習や内容の確認がしやすい。自分の好きなタイミングで勉強ができる。

①期間内であればいつでも授業の動画が見られるため、復習がしやすかつた。

①通学時間の無駄がないので、生活リズムにも余裕ができた。動画配信型の授業では、一度では理解できなかつた部分を何度も再生でき、学習力の向上にもつながつていると感じる。同時双方向型の授業

業は、同じ場所にいなくても対面授業の
ように指導を受けることができるのでも、
通学できない現状の中でもありがたく
思つた。

②集中力の持続に苦労した。オンライン

上だと誰にも見られていないという意識や緊張感の薄れから、ついうとうとしてしまうことがある。

③今後は多くの同時双方向型の授業がで
きることを願う。コロナ禍で人とのコ
ミュニケーションも薄れていますが、オ
ンライン上でも教授や友人の顔を見た
り、声を聞くことで臨場感が出て、安心
するからだ。

資料印刷で出費かさむ (教育学科中等教育専攻2年女子)

①授業動画や資料が繰り返し見られたり、一時停止が出来るので、勉強する際の復習や内容の確認がしやすい。自分の好きなタイミングで勉強ができる。

② 課題の提示の説明が口頭ではないので、理解しづらく質問もしにくい。授業動画が止まつたり、見られない時がある。先生によつては対面の時よりも課題が多い。資料を自分で全て印刷しないといけないので、出費がかさんだ。

③ 適度な分量の課題提示と課題の詳しい説明。臨機応変で柔軟な対応。

(教育学科中等教育専攻2年女子)

大学で授業を受けたい！

① 動画視聴の授業では、分からぬところは何回も見返せるため理解しやすく、自分のペースで授業を受けられる点が良かった。

② 1人でずっと授業を受けているため、

トに支障が出ることがあつたため、来年度は不具合がなくなつて欲しい。

(医療経営管理学科2年男子)

ノートにまとめやすいオンラインデマンド

①自分のペースで授業を受けることができた点が良かった。特にオンラインデマンド授業では、講義動画を一時停止できるのでノートをまとめやすく、モチベーションも上がつた。

②EduTrackのメッセージ機能を通して先生と連絡を取るが、たまに3週間以上、返信が来ないことがあつたので、次々に疑問が増えていたため込んでしまつた。

③大学に直接行つて勉学に励みたいので来年度以降は大学で、すべての授業とはいからても対面式になることを期待したい。

(社会福祉学科1年女子)

自ら考えて実践、を痛感

①自分の時間をうまく組み立てながら予定を組んで授業を進められたこと。学校に行かなくて良いため、その分の時間を休憩時間や予習復習時間にあてて有効活用することができた。オンライン授業を受けていく中で、「大学生がいかに自主的に行動し判断した上でやらなければな

らないことを自ら考えて実践しなければならないのか」を感じることができ、その点において成長できた。

②大学生活のはじめから同級生との交流もほぼなく、誰がどの講義を取っているのかもわからぬため常に授業においては孤独感があつた。時には友人らと話し合ひながら行う学修が理解力の向上につながつていたため、少しやりにくさを感じた。

③各科目・先生ごとでオンラインデマンド配信型もあれば双方向型もあるなどの点において、それぞれの学修における内容把握の度合いに差が起こらないのか等の不安があつた。シラバスの授業構成や評価方法から大きく変更となつた科目もあり、望んだ通りの学びを得られたのか判断しにくいものも多少あつたと感じる。

(社会福祉学科1年女子)

履修や単位について何度も電話

①移動時間がかかるないこと。移動することが多いため、コロナウイルスの感染リスクが減つたこと。

②大学のシステムがそもそも分からぬ

状態だったために、履修や単位、先生と

の連絡の取り方について何度も大学に電話した記憶がある。対面で直接伺うことできれば、スムーズに理解できたのではないかと思う。

③大学生活の半分がオンライン:という複雑な思い出にはしたくない。とはいっても理解したふりをしてしまうが、オンライン授業ではすぐにその場で巻き戻すことができるため、納得のいくまで視聴をすることがあつた。

(福祉心理学科1年女子)

対面授業、シャトルバス再開に期待

①好きな時に好きなだけ授業を視聴できること。対面の授業では、分かっていないくても理解したふりをしてしまうが、オンライン授業ではすぐにその場で巻き戻すことができるため、納得のいくまで視聴をすることがあつた。

(福祉心理学科1年女子)

考えを的確に伝えることに苦心

①感染のリスクを減らすことができた点。オンライン授業の場合は質問に対する返答に時間がかかる場合があるため、疑問に思つたことやわからぬことは、テキストやインターネットなどを用いて調べるようになつた点。授業時間を持つかり把握し、課題を期限よりも早めに終わらせることで自分に使える時間が増え、生活習慣を見直すきっかけになつた。

(福祉行政学科1年女子)

考えを的確に伝えることに苦心

①感染のリスクを減らすことができた点。オンライン授業の場合は質問に対する返答に時間がかかる場合があるため、疑問に思つたことやわからぬことは、テキストやインターネットなどを用いて調べるようになつた点。授業時間を持つかり把握し、課題を期限よりも早めに終わらせることで自分に使える時間が増え、生活習慣を見直すきっかけになつた。

(福祉行政学科1年女子)

授業に関する理解度チェックの確認テストや課題の量が多く、大変だつた。

②授業に関する理解度チェックの確認テストや課題の量が多く、大変だつた。またオンライン授業では「直接」話を聞くことはできず、文面上でのやりとりが多くなるため、自分の考えや聞きたいことを的確に伝えることは苦労した。

③対面授業を望む学生や保護者の声と、新型コロナウイルス感染に対しても危機感を持つ学生と保護者の声で大学は板挟み状態になつてゐるとは思うが、「対面授業」と「オンライン授業」のハイブリッド化が求められる中で、いかに感染者を出さずに対面授業とオンライン授業を併用するのかを期待したい。

共通理解の難しさ：違つていていい

コロナ禍における大変さのひとつには、「他人と共通理解を持つことの難しさ」があると感じます。実際に自身や身近な方が感染され大変な思いをされた方はもちろん、学業や仕事、経済面の変化、家族や友人と過ごす時間の変化等、それぞれが大なり小なり影響を受けたと言えるでしよう。人は、共通理解を持てると安心します。

しかしコロナ禍においては、この状況に何を感じ、どのように影響があつたのかが千差万別で、「コロナ禍」という同じテーマで話をしながらも、共通理解で語り合うこと、共感し合うこと



(ウエルネス支援室 佐藤 名央)

新任教員紹介



上埜 高志教授
担当科目・リエゾンゼミ I (基礎演習)、II (専門基礎演習)、III (専門演習)、精神医学、精神保健学



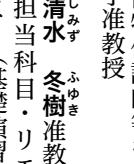
冲永 壮治教授
担当科目・リエゾンゼミ I (基礎演習)、II (専門基礎演習)、臨床医学各論



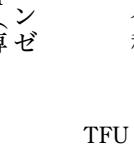
山崎 敦子准教授
担当科目・リエゾンゼミ I (基礎演習)、II (専門基礎演習)、III (専門基礎演習)、保育内容 (言葉) の理論と方法、保育内容 (環境) の理論と方法、保育内容総論、保育原理、保育実習指導 I・II、保育内容総論、保育者論、教育実習 (幼・小) の事前事後指導



清水 冬樹准教授
担当科目・リエゾンゼミ I (基礎演習)、II (専門基礎演習)、III (専門基礎演習)、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術演習 I・II

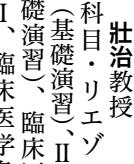


佐藤 達也准教授 (任)
担当科目・リエゾンゼミ I (基礎演習)、II (専門基礎演習)、III (専門基礎演習)、人体構造機能論、医療統計 I・II



中村 勝也准教授

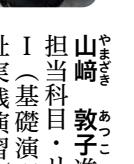
中村 勝也准教授



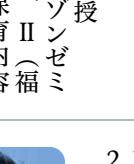
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授



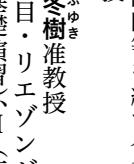
中村 勝也准教授



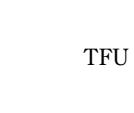
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授

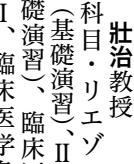


中村 勝也准教授



中村 勝也准教授

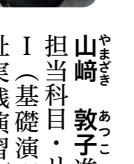
中村 勝也准教授



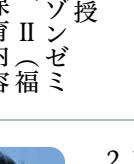
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授



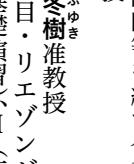
中村 勝也准教授



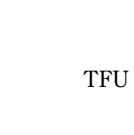
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授

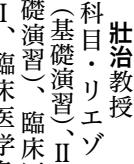


中村 勝也准教授



中村 勝也准教授

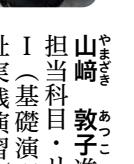
中村 勝也准教授



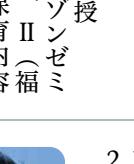
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授



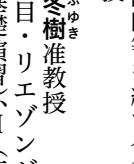
中村 勝也准教授



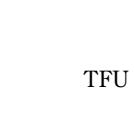
中村 勝也准教授



中村 勝也准教授



中村 勝也准教授



中村 勝也准教授

教務部教務課（嘱）	美術工芸館（嘱）	五戸
△役職任命		
副学長		
総務局長	寺下	寺下
総合福祉学部学部長	池原	充洋
社会福祉学科学科長	塩村	公子
福祉行政学科学科長	阿部	一彦
福祉心理学科学科長	阿部	裕二
総合マネジメント学部学部長	渡部	純夫
兼産業福祉マネジメント学科長	岡	正彦
情報福祉マネジメント学科学科長	大内	誠
教育学部学部長（兼）	寺下	
教育学部学科長	石原	明
教育学科主任（初等教育専攻）	熊谷	直
教育学科主任（中等教育専攻）	朝倉	
健康科学部学部長		
兼医療経営管理学科長	船渡	忠男
保健看護学科学科長	杉山	敏子
リハビリテーション学科学科長	齋木しゅう子	和彦
リハビリテーション学科副学科長	佐藤	充彦
通信教育部部長兼通信教育事務部長	佐藤	
通信教育部副部長	三浦	
大学院委員長	佐藤	善久
大学院副委員長（兼）	千葉	剛
総合福祉学研究科研究科長（兼）	田中	治和
総合福祉学研究科研究科長（兼）	田中	治和
総合福祉学研究科福祉心理学専攻主任（兼）	佐藤	一郎
教育学研究科主任	山下祐一郎	

キヤリアセンター副センター長	大内 真弓
キヤリアセンター主任	工藤 健一
キヤリアセンター主任	佐藤 英仁
キヤリアセンター主任	野呂 拓生
国際交流センター長	国際交流センター長
国際交流センター副センター長	高橋 加寿子
国際交流センター副センター長	清水 由賀
社会貢献・地域連携センター	シユミット ケネス
国際交流センター副センター長	生田 目学文
地域福祉研究室室長（社会貢献・ 地域連携センター）	庭野 道夫
生涯学習支援室室長（ノンアクティビティ）	渡部 純夫
予防福祉健康増進推進室室長（ノンアクティビティ）	船渡 忠男
臨床心理相談室室長（ノンアクティビティ）	星山 幸男
防災士研修室室長（ノンアクティビティ）	船渡 忠男
感性福祉研究所所長	千葉 公慈
感性福祉研究所副所長（研究担当）	寺下 明
兼事務局長	梶原 洋
美術工芸館館長	千葉 恵子
美術工芸館副館長（兼）	公慈 恵子
美術工芸館副館長（兼）	梶原 洋
美術工芸館顧問	芹沢 恵子
▽新任（令和2年5月1日付）	鈴木 正志
職員	キャリアセンター長
職員	長谷川 潔
職員	菅野 政喜
▽退職（令和2年6月30日付）	正志
▽退職（令和2年7月31日付）	鈴木 正志
職員	キャリアセンター長
職員	長谷川 潔
▽役職任命（令和2年10月1日付）	菅野 政喜
財務部次長	長谷川 潔

「令和元年度学位記・卒業証書授与式」 学科別に挙行、1、609人が巣立ち

2020年3月19日、「令和元年度学位記・卒業証書授与式」が執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国見キャンパス、仙台駅東口キャンパスで学科ごとに会場を分けて行われました。

学位記は大学院の修了生が博士課程

3人、修士課程が通学制7人、通信制

13人。卒業証書は社会福祉学科

379人、福祉行政学科106人、

福祉心理学科143人、社会教育学

科1人、産業福祉マネジメント学科

104人、情報福祉マネジメント学科

88人、教育学科初等教育専攻228人、同中等教育専攻44人、保健看護学

科82人、リハビリテーション学科作業

療法学専攻39人、同理学療法学専攻53人、医療経営管理学科77人、通信教育部242人で、全体では1,609人が対象になりました。

卒業生のみの参加となり、マスク着用が奨励された学科ごとの授与式では、各会場で千葉公慈学長の録画映像による式辞のあと、代表が学位記・卒業証書を受け取り、学科長、学科教員が祝辞を述べました。令和2年度学位記・卒業証書授与式は、卒業生のみの

参加で3月18、19日の2日間、午前・午後の2部制とし学部ごとに挙行される予定（1月15日現在）です。

午後の2部制とし学部ごとに挙行される予定（1月15日現在）です。

笑顔で記念撮影をする卒業生たち

令和2年度入学式は中止 3年度は学部ごとを予定

4月3日、2020年度の新入生が入学しました。大学院は通学制の総合

福扯学研究科博士、修士課程、教育学研究科、通信制の修士課程合わせ40人。

福扯学研究科博士は編入生を含め、社会福

祉、福祉行政、福祉心理学科で

653人、総合マネジメント学部は産

業福祉マネジメント学科と情報福祉マ

ネジメント学科の216人、教育学

部教育学科は272人、健康科学部

は保健看護学科、リハビリテーション

学科、医療経営管理学科合わせて

258人で、合計1,439人が新たに仲間入りをしました。

当初はこの日に入学式の式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止。各教室ごとに換気を十分に行いながら千葉学長からのメッセージが動画で流れ、貸与パソコンなどが渡されました。

令和3年度入学式は、4月5、6日、卒業証書授与式同様に学部ごとに行われる予定（1月15日現在）です。



鬼生田宗務総長から目録を贈呈された高橋理事長（中央）と千葉学長（左）

曹洞宗宗務庁から 見舞金1,000万

曹洞宗の宗門立大学である東北福祉大学を運営する学校法人栴檀学園は6月17日、曹洞宗宗務庁から新型コロナウイルス対応として、見舞金1,000万

万円を拝受しました。

曹洞宗宗務庁では、感染症拡大による影響でアルバイト等の収入源が断たれ、多くの学生が経済的に困窮を余儀なくされていることに鑑み、学生の経済的支援に使用していただきたいとして、本学園に見舞金を交付していただきました。なお、本学と同じく宗門立大学の駒澤大学（東京都）、愛知学院大学（愛知県）を運営する両学校法人にも同様に見舞金が送られました。

両祖忌法要を オンライン公開

仏教専修科では2020年9月17日、両祖忌法要を本学国見キャンパス法堂で営みました。両祖忌は、永平寺を開いた道元禅師と、總持寺を開いた瑩山禅師を偲ぶ法要です。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年5月にリエゾンゼミⅠ内で1年生の参列のもと営んできた降誕会法要が中止となつたため、両祖忌のオンライン化を計画。広報課の協力のもと、大学ホームページ上で全学生、教職員に限定して視聴できるよう公開しました。

行動指針も緩和された10月7日の達磨忌、12月3日の成道会はオンライン配信はしませんでしたが、十分な換気と感染症対策を施し営みました。

宮城県白石市と締結 地域共生社会の実現に向けた包括連携協定

2020年10月16日、本学は宮城県

白石市と「地域共生社会の実現に向けた包括連携協定」を締結しました。白石市役所内の防災センターで行われた

協定締結式には、本学から千葉公慈学長、寺下明副学長、池原充洋総務局長、総合マネジメント学部・岡正彦学部長、産業福祉マネジメント学科・森明人准教授、白石市からは山田裕一市長、菊地正昭副市長らが出席しました。

協定は相互のパートナーシップのもと、人材、知識、情報などの資源を有効活用し、地域共生社会の実現に資することが目的。連携事項として①地域共生社会の実現に必要となる事業②人材育成③その他それぞれが必要と認めること、が協定書に示されました。

地域共生社会とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」などの関係を超えて、地域住民らが「我が事」として参画し世代や分野がつながりながら、地域をともに創っていく社会のことです。

山田市長は「東北福祉大学の知見や豊富な経験、ノウハウを地域福祉計画に取り入れ、住民目線の福祉など地域共生社会を実現していきたい」と今後

協定書を手にする千葉学長（右）と山田市長



学生が地域活性化アイディア 仙台駅東まちづくり協議会

本学が参画する「仙台駅東まちづく

り協議会」の都市創造部会が2020年11月13日、仙台市宮城野区のイベントホール松栄で開催され、エ

リア内の立地企業や地域住民ら約40名が参加しました。本学からは産業福祉マネジメント学科の岡正彦教授と野呂拓生准教授のゼミ生17名が参加し、仙台駅東活性化へのアイディアを提案しました。

協議会は仙台駅東口地域の資源を最大限に活用し、総合的な活性化を担うエリアマネジメント組織として2019年8月に設立。活動の一環として、岡教授のゼミ生によるプロジェクトチームが結成。これまで仙台駅東口エリア情報サイト「ONE」の運営や、インスタグラムによる情報発信を始動しています。

今回は、学生たちが実際に歩き回り地域共生モデルを創造し、提起していく「たい」と抱負を述べました。



9月10日、多賀城高災害科学科での模擬講義のようす

た」と感想が語られました。
2020年度の高大連携事業は、新たに宮城学院、古川学園高を加え、7つの高校で行いました。年間で4学科による15講座を行う宮城学院とは5月14日、保健看護学科によるオンライン講座からスタート。コロナ禍のため、すべての回でオンライン講座となりました。

また、古川学園高で今年から開設した創志コースと産業福祉マネジメント学科との連携事業は、8月27日の工藤健一准教授による講座を皮切りに実施。その他の高校とも各学科の尽力のもと、模擬授業を行いました。来年度以降も感染症対策として、オンライン併用での事業推進が考えられています。

高大連携事業7校 コロナ禍でも進行

Team Bousaisi 角田恵さんが 国土強靭化担当大臣との座談会



小比木大臣（左から4人目）と参加者。
左端が角田さん。

角田さん
京都内で
の座談会
を終えた
6月、消防庁が主催する予防業務優良
ト学科の学生チームが2019年度に
開発した「KIKATTO」が2020年
感謝状贈呈式が2020年12月18日、
仙台市青葉区の宮城県警察本部で行わ
れ、パトロール強化期間に顕著な活動

防災活動に取り組む若者との意見交換を目的とした「世界津波の日」座談会が「世界津波の日」の11月5日に合わせ通信社の企画で行われ、Team Bousaisi 副代表の角田かりんさん（福行3年）が参加しました。「世界津波の日」は日本が提唱し、2015年に国連で制定。世界的に津波への対策、意識向上をめざしています。角田さんは自身の防災活動や災害ボランティアの経験を元に、小此木八郎・国土強靭化担当相らと意見を交わしました。

Team Bousaisi は東日本大震災を機に2013年に設立。防災士資格を取得した本学学生により構成される団体で、2020年度のメンバーは約80人。自治体や小中学校での避難訓練支援、防災教室やラジオ番組による啓蒙など様々な防災活動を行っています。東

京都市内での座談会を終えた
6月、消防庁が主催する予防業務優良
ト学科の学生チームが2019年度に
開発した「KIKATTO」が2020年
感謝状贈呈式が2020年12月18日、
仙台市青葉区の宮城県警察本部で行わ
れ、パトロール強化期間に顕著な活動

は「他の参加者と話して刺激をもらつた。これからも東日本大震災の被災地で、学生だからこそできる活動を続けていきたい」と意気込みました。

座談会の内容は共同通信社運営サイト OVO（オーヴォ <https://ovo.kyodo.co.jp/pr/2020110501>）で、

覧いただけます。

は「他の参加者と話して刺激をもらつた。これからも東日本大震災の被災地で、学生だからこそできる活動を続けていきたい」と意気込みました。

座談会の内容は共同通信社運営サイト OVO（オーヴォ <https://ovo.kyodo.co.jp/pr/2020110501>）で、

は「他の参加者と話して刺激をもらつた。これからも東日本大震災の被災地で、学生だからこそできる活動を続けていきたい」と意気込みました。

座談会の内容は共同通信社運営サイト OVO（オーヴォ <https://ovo.kyodo.co.jp/pr/2020110501>）で、

事例表彰において特に優れた団体に贈られる「消防庁長官賞」を受賞しました。

予防業務優良事例表彰とは、全国から寄せられた予防業務の取組の中で他

団体の模範となる優れたものを消防庁

長官が表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を

広く周知し、各消防本部の業務改善に

資することを目的に行われています。

第4回目を迎えた今回の表彰では、

45団体の応募の中から、消防庁長官賞として仙台市消防局を含む4団体、優秀賞として14団体が選ばされました。

「KIKATTO」について選考委員からは、「大学と連携して使いやすい無料の点検アプリを開発したことは、過去に事例がなく評価できる。今後、通信機器の性能が向上し、またアプリに慣れた世代が報告書の提出に関わる」とから展開が期待できる」とのコメントをいただきました。

感謝状は、この期間の取り組みに特に貢献した団体と個人に贈られるもので、59人が参加した本学が団体表彰、SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置かれました。

サイバー防犯ボランティアは、インターネット上に氾濫する違法・有害情報を見し警察に通報する活動を行っており、今年度は7月1日から9月30日までの3ヶ月間が強化期間とされ、SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置かれました。

感謝状は、この期間の取り組みに特に貢献した団体と個人に贈られるもので、59人が参加した本学が団体表彰、SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置かれました。

感謝状は、この期間の取り組みに特に貢献した団体と個人に贈られるもので、59人が参加した本学が団体表彰、SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置かれました。



対談に臨んだ角田さん

学生開発「KIKATTO」 消防庁長官賞を受賞

宮城県警から初の個人表彰 サイバー防犯ボランティア

情報福祉マネジメント学科学生、同

学科教員のゼミ生ら59人が委嘱されて

いる「サイバー防犯ボランティア」の

感謝状贈呈式が2020年12月18日、

仙台市青葉区の宮城県警察本部で行わ



感謝状を手にする佐々木さん、左から
内誠教授、阿部さん、野崎さん

たので、自宅でできるボランティア活動として取り組めました」と充実した表情で語りました。

を行った本学と、3人の学生に感謝状が贈られました。

サイバー防犯ボランティアは、イン

ターネット上に氾濫する違法・有害情

報を発見し警察に通報する活動を行

い、今年度は7月1日から9月30日ま

での3ヶ月間が強化期間とされ、

SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置かれました。

サイバー防犯ボランティアは、イン

ターネット上に氾濫する違法・有害情

報を発見し警察に通報する活動を行

い、今年度は7月1日から9月30日ま

での3ヶ月間が強化期間とされ、

SNSに起因する児童被害防止対策と特殊詐欺対策に重点が置

保育士・幼稚園課程秋元さんら 全国学生の保育者就活を支援

The image consists of four portrait photographs of a woman with dark hair and bangs, arranged in a 2x2 grid. The top-left photo shows her wearing a purple turtleneck and white headphones. The top-right photo shows her wearing a brown turtleneck and white headphones. The bottom-left photo shows her wearing a beige turtleneck and white headphones. The bottom-right photo is a solid black square. The background for the top-left and top-right photos is a light-colored wall, while the background for the bottom-left photo is white.

「対話型オンライン保育合同説明会」を動画で告知する学生たち

保育士・幼稚園課程の学生たちが2020年度、オンラインで全国の学生の保育者就活を支援する取り組みを展開しました。実行委員として運営の中核を担つたのは、同課程の秋元円さん（教育4年）ら「ミシュラン・プロジェクト」のメンバーたち。「ミシュラン・プロジェクト」は、これまでも保育・幼児教育の現場を訪れて保育の質を評価したり、保育・幼児教育分野の専門家をめざす学生に向けて独自の就活ガイドラインを提示したり、専門家を交えた学内外のセミナー等でも発題役を担つたりするなど、多種のアクティブライブな活動を実践しています。

ての保育者就職の合同説明会から開始。当初は専門の人材紹介会社の運営支援を受けましたが、第10回から完全に学生主体で企画・運営を行うようになりました。5月30日を皮切りに全16回開催し、初回から1000人を超えるなど、学内外から延べ1、000人以上の参加者を数えました。

就活ガイドラインを提示したり、専門家を交えた学内外のセミナー等でも発題役を担つたりするなど、多種のアクティブな活動を実践しています。

この取り組みはZoomを利用し

説明会」を動画で告知

指導を行つた畠田明人教授は「エロナ禍でのピンチをいかにチャンスに変えられるか。全国の大学・保育者養成関係者から注目を浴びて いる本学のも見事に結果を出しましたが、これからはさらに全国に向けて、学びの成果を発信し続けていくことになりそうです」と学生たちを評価しました。

実行委員の学生たちは、1月30日に集大成として「対話型オンライン保育合同研究会」を主催。こちらも盛況のうちに会を終えました。

河村ゼミ生が企画・開催 5大学オンラインイベント

2020年11月29日、関東や関西の大学と合同で、オンラインイベント

せんだんホスピタル 不登校対応入院開始

オンラインイベントを実行した 河井ばこ先生

題、学科の
に関する問
題、学科の
学びに関する
問題など
をクイズ形
式で紹介し
ました。

YouTube のライブ配信を活用し、河村ゼミでは、3年生による「オンラインクイズバトル」、4年生による「運動と健康に関するミニレクチャー」を配信。クイズバトルでは、仙台に関する問題、大学の特長や「禅のこころ」

白大學（東北福祉大學）の教員と学生が参加して実行委員会を立ち上げ、その後は各大学の学生実行委員が中心となつて打ち合わせを重ねてきました。オンラインで自らの企画を発信することや、他大学の同学年の学生たちのゼミ活動を知る機会は、このコロナ禍で

「Beyond～リカーノーマル時代の Well-being を創造する～」を開催しました。

生を対象とした不登校対応入院「キヤンプせんだん」を開始しました。

例年は年度の前半、特に6月から7月、9月に不登校を主な症状の1つにした受診が増える傾向がありますが、今年度は新型コロナウイルスによる休校が長期化したことの影響もみられました。せんだんホスピタルは、宮城県唯一の中学校院内学級を擁する児童精神科として08年の開院以来、精神的不調が生じた子どもたちを10年以上にわたりて診療。これまでも児童思春期病棟への入院を通しての援助を行ってきましたが、より地域で活用されるためにこの対応を始めました。

「キャンプせんだん」の開始に際し、児童思春期病棟への入院生活を紹介するため、マンガ『キャンプせんだんとぼくのあした』を作成。マンガは無料での配布と、せんだんホスピタルホーミページから閲覧が可能です。



マンガ「キャンプせんだんとぼくのあした」

郷古さん B 部門 最優秀賞 第19回学内懸賞論文



令和元年度第19回学内懸賞論文の最優秀賞、優秀賞ほかの受賞者が発表され、2020年2月17日、学内レストラン「風土」で表彰式が行われました。テーマはA部門が「日本の良き伝統を考える」、B部門が「私の関心とSDGs」の2種類で、A部門に29編、B部門に16編の作品が寄せられました。

審査の結果、B部門から最優秀賞（奨学金10万円）と優秀賞（同5万円）が各1編ずつ、A部門からは優秀賞が1編、佳作はA部門で1編、B部門で2編が選ばれました。表彰式後、寺下明副学長は「受賞おめでとう。書くことが大事で、（応募を）友人にも声をかけてほしい」と述べました。審査委員長の齊藤仙邦教授は「形式は以前よりも整つてきている。ただし、学術的な書物や論文をより参照するように」と要望しました。受賞者は以下の通り（学年は当時）。

（最優秀賞）B部門＝郷古大雅（社福3年、写真）
（優秀賞）A部門＝渡邊琴美（福行2年）、B部門＝大竹珠生（福行2年）

ベストティーチャーに 教育・青木一則准教授



学内表彰の「2019年度ベストティーチャー」に教育学科の青木一則准教授（写真中央）が選出され、

2020年12月16日、学長室で千葉公慈学長から表彰状が贈られました。

表彰は、授業評価アンケートに基づき2015年度から行われ、19年度は青木准教授が担当する専門教育科目「保育内容研究（表現・美術）」が、教育の質にかかる項目で高い評価を得ました。青木准教授は「（受賞は）うれしい。対面で評価された形だが、コロナの状況下にあって、授業については考えさせられる。オンラインでもさらに精進したい」と話しました。その他の表彰は以下の通り。

（グッドティーチャー）（ ）内は科目名

（総合基礎教育）平泉拓助教（心理学）

（佳作）A部門＝奥州敬祐（福行2年）、B部門＝田中勝義（福行4年）、佐々木瞳（産福2年）

（基礎）
（外国語）シユミット・ケネス（英語III）
（スポーツ）鈴木玲子特任教授（スポーツI）
（専門教育）鎌田克信講師（体育科の指導法）、竹森その子非常勤講師（英語I・コミュニケーションを含む）、菅原弘一非常勤講師（社会科の指導法）
（大学院）大西孝志教授（聴覚障害者教育特論）

「野々島プロジェクト」 塩竈市教委から感謝状



宮城県塩竈市の野々島で子どもたちに自然体験学習を提供する、本学の「野々島プロジェクト」に2020年11月5日、塩竈市内で行われた教育功績者表彰式（写真）で塩竈市教育委員会から感謝状が贈呈されました。式には「野々島プロジェクト」代表の金政信教授と山口政人准教授が参加し、吉木修教育長から感謝状が手渡されました。贈呈理由は「地域



東北福祉大学防災士協議会の会長を務める健康科学部学部長・船渡忠男教授が、2020年度より特定非営利活動法人・日本防災士機構の理事に任命されました。日本防災士機構は、減災と防災力向上のための知識・技能を習得し活動する「防災士」の資格認証団体。11月に団体の表敬訪問を受けた船渡教授（写真左から3人目）は「新型コロナウイルスの影響で活動が制限されているが、地道に研修講座を開講していきたい。地域の防災リーダーとして意識を持つて活動できる人材育成に取り組んでいく」と意気込みを語りました。

船渡教授に任命 日本防災機構理事

会をたくましく生き抜く力の育成に貢献したこと。金教授は「今後も子どもたちの自然体験学習の機会の提供や地域共創の発展に努めていきたい」と感無量の面持ちで話しました。

（交流・被災地復興及び子どもたちの「社会貢献した」こと。金教授は「今後も子どもたちの自然体験学習の機会の提供や地域共創の発展に努めていきたい」と感無量の面持ちで話しました。

EVENTS NEWS

「島秀雄記念優秀著作賞」を受賞

鉄道交流ステーション



当館発行のブックレット等が2021年1月、鉄道友の会「島秀雄記念優秀著作賞」の2020年の特別部門受賞作として選出されました。この賞は毎年1回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関する功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的に制定されています。受賞は「むかし、秋保まで鉄道が走つてた。」ほか一連の企画に対してで、選定理由は「地元の利を生かした丹念な資料収集に加え、関係者へのインタビューも交え、完成度の高い内容で既刊の鉄道交流ステーションブックレットや企画展と合わせてその企画を高く評価して」とされました。

当館は、新型コロナウイルス拡大により2020年度末まで休館となり、4月から予定した企画展「大回りで行くやさしい鉄道探検隊」が無期限延期。代替措置として、その予告編のYouTube動画を公開しました。

MUJI BOOKS「芹沢鉢介」刊行

芹沢鉢介美術工芸館



無印良品が手掛けけるMUJI BOOKS「人と物」シリーズの第14弾として2020年9月、「芹沢鉢介」の文庫本が刊行されました。芹沢の仕事に対する真摯な言葉とともに

に代表作品や収集したコレクションが紹介されています。このシリーズでは、今回はじめ特装版が製作され、「小泉八雲」「芹沢鉢介」「星野道夫」の3冊セットも刊行。特装版は

オールカラーで、スリーブ2種には芹沢模様が採用されました。本編では本学美術工芸館の所蔵品より「いろは文着物」「型染うちわ絵」、マッチラベルなど11点が紹介されています。また、コロナ禍で予定の展示が中止となる中、「Web展示室」を6月25日から、「おうちワークショップ」を9月2日から工芸館ホームページ内で公開を開始しました。

感染対策し「ハイキュー!!展」3万3千人

TFUギャラリー Mini Mori

2020年9月19日から10月25日にかけ、「連載完結記念 ハイキュー!!展」を開催、約3万3千人が来場しました。同作は週刊少年ジャンプで約8年連載。直筆原稿や新たに描きおろされたカラーラスト、躍动感あふれるパネル等が展示され、熱狂的なファンをうなさせていました。

開催にあたり完全日時指定の入場券の販売、来場者の個人情報登録や検温の実施など、厳格な感染症対策を行いました。

また、11月には「第1回杜のみやこ工芸展」、「第67回河北書道展」を開催。書道展には、池田満寿夫の「般若心経写経」軸も展示され、反響を呼びました。



硬式野球部・山野、元山選手ヤクルト入り

2020年10月26日に東京都内で行われたプロ野球（NPB）ドラフト会議で、硬式野球部の山野太一投手（医療経営4年）が東京ヤクルトスワローズから2位指名、元山飛優内野手（同4年）が同じくヤクルトから4位指名されました。

山野投手は山口・高川学園高出身の左腕。リーグ戦通算22勝0敗、2年秋から3年秋にかけては公式戦70回連続無失点を記録しました。長野・佐久長



聖高出身の元山内野手は、アマチュアトップクラスの守備力が持ち味。2018年の全日本大学野球選手権では正遊撃手として、本学の3度目の日本一に貢献しました。

感染症対策のため、国見ヶ丘第1キャンパスのトレーニングセンターで指名後に会見を行った山野投手は「プロで1年でも長くやれるように」、元山内野手は「世界一のショートストップをめざす」と意気込みました。

2人は11月30日に本契約を結び、背番号は山野投手が21、元山内野手が6に決定。また、卒業生の中野拓夢内野手（2018年度卒、三菱自動車岡崎）が阪神タイガースに6位で入団、本学からのNPB選手は計51名となりました。

5季連続73度目▼ 仙台六大学野球

10月18日まで行われた仙台六大学野球秋季リーグ戦で、硬式野球部が5季連続73度目のリーグ優勝を果たしました。

た。

今年は新型コロナウイルスの影響で、春季リーグ戦が1970年のリーグ発足以来初の中止。6月の全日本大

11月24日、仮契約を終えた元山選手（左）と山野投手は背番号入りグッズを手に笑顔

も危ぶまれましたが、2戦総当たり勝率制で10戦全勝優勝を遂げました。また明治神宮大会も中止となつたため、代表決定戦の代替大会となつた10月31日、11月1日の東北地区大学野球王座決定戦では、八戸学院大学を延長10回4-2、富士大学を延長11回3-2とともにタイブレークの激闘を制し、東北王座に輝きました。

学野球選手権も中止となり、秋の開催率制で10戦全勝優勝を遂げました。また明治神宮大会も中止となつたため、代表決定戦の代替大会となつた10月31日、11月1日の東北地区大学野球王座決定戦では、八戸学院大学を延長10回4-2、富士大学を延長11回3-2とともにタイブレークの激闘を制し、東北王座に輝きました。



リーグ戦を制し、歓喜する元山主将（中央）ら選手たち

椋木、三浦投手が 侍J大学代表候補

硬式野球部・椋木蓮、三浦瑞樹投手（ともに情福3年）が11月16日、全日

本大学野球連盟から発表された侍ジャ

時代から甲子園で実績を残し、本学入学者も1年春から活躍。2018年以来2度目の代表候補入りとなりました。高川学園高（山口）出身の右腕、椋木投手も1年春から公式戦を経験。今秋の仙台六大学野球リーグ戦では、抑えとして最速153キロをマークし73度目の優勝に貢献、最高殊勲選手賞を受賞しました。代表候補入りは初めてとなります。



椋木投手（左）と三浦投手

2016年以来4年ぶり8強入り! 全日本バレー ボール 大学 女子 選手権



11月30日から行われた第67回秩父宮妃賜杯全日本バレー ボール 大学女子選手権大会に女子バレー ボール部が出場、2016年以来4年ぶりの8強入りを果たしました。

初戦となつた2回戦の広島大学戦は、2セットにわたり失点を1けたに抑える完勝。3回戦では関東の強豪校である青山学院大学にもストレート勝ちを收めました。2002年以来となる4強入りをかけ迎えた準々決勝の相

手は、3連覇を狙う強豪筑波大学。前戦で負傷したリベロ佐々木遥香選手(社福4年)を欠くなか、チームがひとつとなつて挑んだものの、0-3で敗れました。松田健太郎監督は「下馬評をひっくり返したかったが残念。強豪と同じことをやつても勝てないので見直していく」と来年度を見据えました。

▽2回戦

東北福祉大学 3-0 広島大学
(25-12, 25-8, 25-9)

▽3回戦

東北福祉大学 3-0 青山学院大学
(25-22, 25-21, 25-19)

▽準々決勝
東北福祉大学 0-3 筑波大学
(22-25, 21-25, 19-25)

過去最高ならず17位 杜の都駅伝

第38回全日本大学女子駅伝対校選手

権大会(通称・杜の都駅伝、6区間
38.1km)が10月25日、仙台市内で行わ

れ、14年連続18度目出場の本学陸上競
技部女子駅伝チームは2時間12分57秒
で17位となりました。

新型コロナウイルスの影響により、
思うような練習ができず迎えた全国の
舞台は、1区で16位スタートもその後
19位に。それでも4区須藤ひかる選手
(看護4年)と6区小高夏綺選手(同3
年)が1つずつ順位を上げ17位でフィ
ニッシュしました。過去最高の14位に
は届きませんでしたが、来年の東北地
区出場校の2枠を守りました。3区を
走った主将の五十嵐徳子選手(産福4
年)は「かみ合わず、個人の力を發揮
できなかつた。今回の結果を冷静に受け
止め、次にいかしていくほし」と後輩に
あとを託しました。

また、12月30日に行われた富士山女
子駅伝(7区間43.4km)では、けが人
を抱えながらも2時間33分04秒の16位
と健闘しました。



6区10位と好走しゴールする小高選手
将(1)

短剣道同好会 全日本2連覇



UNIVAS CUP 東北地区1位

2019年に設立された大学スポーツ協会(UNIVAS)による競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP2019-20」において2020年3月、本学は東北地区1位となり地区部門賞を受賞しました。UNIVAS会員の32競技団体が開催する大会のうち、大学日本一を決める大会を「UNIVAS CUP」が指定する大会と設定、順位に応じてポイントを獲得していくもので、本学は2、180ポイントを獲得。栄えある第1回目での表彰となりました。

第39回全日本学生銃剣道選手権大会
短剣道の部が10月31日、福島県二本松
市の城山第二体育館で行われ、短剣道
同好会が出場した本学は団体戦2連
覇、個人戦でも工藤勇人選手(産福2
年、写真右)が2年連続の優勝を果た
しました。また、中川誓久選手(社福3
年、同左)も3位に入りました。



「ダンロップ・フェニックス」で優勝した金谷選手（中央）。左は杉原選手、右は米澤選手

金谷選手「マコーマックメダル」日本人初受賞 & プロ転向3戦目でツアー優勝の快挙

ゴルフ部主将の金谷拓実選手（社福4年）が2020年9月10日、世界一のアマチュア選手に与えられる「マーク・マコーマックメダル」を受賞しました。

同賞は、07年にゴルフの総本山といわれる英国のR&A（ロイヤル・アンド・エンシェント・ゴルフクラブ・オブ・セントアンドリュース）が制定、毎年「全米アマ」もしくは「欧州アマ」終了後のランキング1位選手に授与されるもの。金谷選手は19年8月に世界アマチュアランク1位となり、20年9月9日付までトップを維持、日本人初めての受賞が確定しました。

全米オープン出場後の10月2日には、プロゴルファー転向を表明。11月22日に最終日を迎えた男子ゴルフツアー「ダンロップ・フェニックス」では4ホールに及ぶプレーオフを制し、3戦目にしてプロ初優勝（アマ時代含めツアー2勝目）を飾りました。3戦目での優勝は、本学OBの松山英樹選手（13年度卒）が13年に記録した2戦目に次ぐ速さ。

また、同ツアーでは1学年後輩の米澤蓮選手が8位タイ、杉原大河選手（ともに社福3年）は27位タイに入るなど、本学ゴルフ部の底力を見せてくれました。